

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「川からの学びについて」 報告書

助成番号：2021 - 7111 - 007

長野県長野市こどもの森幼稚園

園長 内田 明子

2021 年度

助成番号	助成事業名			学校名		
2021-7111-007	学校法人 いっぴな学園			こどもの森幼稚園		
校長名	内田 明子	担当教諭名		宮崎 温		
過去の助成実績	(なし) あり [助成番号: 助成事業名:]					
キーワード	「川遊び」「子どものつぶやき」					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名) 小学生 (年 名) 幼児 58 名					
対象河川名	浅川	活動場所の指定状況		(なし) 子どもの水辺 水辺の楽校		
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ : 水遊び～川遊びによる自然体験活動 ねらい : ①四季の移ろいや多様な環境と生物に気付く ②不陸地を歩いて体幹を鍛え、健康な心身を育む 評価の観点 : 子どものつぶやきから、子どもの学びを捉える 活動時期 : 6～10月						
活動形態	総合的な 学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の 活動時間数	30時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	(行政機関) (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	河川管理者から河川使用時の注意事項や手続き等について、ご教示頂いた。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	(学校全体)			
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨等による水量の変化への対応 ・苔の生えた岩場等での転倒防止 ・岩場についているハチの巣への対応 						
活動の成果と今後の課題・展開						
成果 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近な浅川ダムの研修を通して、当該職員とのつながりができ、浅川ダムの管理している河川を利用することが可能となった。当該地の環境は、比較的緩やかな河川のため、小さい子ども達でも安心して遊ぶことが出来た。また、導入した無線機により、職員間の情報共有がスムーズに行われ、ハチによる危険回避に繋がった。 ・当初予定していた、夏休み明けの鳥居川での川流れ体験が天候不良により行えず、水の流れに身を任せた後の子どものつぶやきが拾えなかったことが残念である。 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・近年突然の豪雨等での水量増加が話題になっているため、日々天気を確認し、状況に応じて早めに活動を終わらせるなどの対応が必要である。 ・ハチの巣が岩と岩の間に数か所出来ていて、子ども達と川遊びする中でヒヤリハットを経験した。事前の下見では、危険個所をしっかりと把握しておく必要がある。 						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	6～10月頃	
			生物調査系	生き物と関係	6～10月頃	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-007	学校法人 いっぴな学園	こどもの森幼稚園 内田 明子



フィールド：こどもの森幼稚園

日付：2021年6月9日

コメント：「おひさまの力」

新緑の頃より幼稚園では泥んこ遊びを何度も楽しむ
しかし、標高1,050mの飯綱高原の6月はまだ寒い。
少し遊んだ子ども達は玄関の日当たりで寝そべる。
空を見ながら「おひさまでてこい」という子ども達
自分たちでおひさまの場所を探しながら『甲羅干し』
をする。水遊び、泥遊びを通して、子ども達は自分の
体温の変化を知り、寒いときはおひさまの力を借りて
身体を温めることを学んでいく。



フィールド：こどもの森幼稚園 沢

日付：2021年6月29日

コメント：「水遊び」

幼稚園の沢遊びを楽しむ子ども達。
最初は静かに足で水がはじける音、水の感触を楽しんでい
た子ども達。次第にジャンプしてみたり、飛んでみたりする
とどンドンびしょ濡れになっていく。
それが楽しくて楽しくて何度もやっていると、服が濡れて
いても濡れることも全く気にならなくなった。
次は友達が「こうしてみよう」と座ってみたり、寝転んで
みたりして、水を楽しんだ。
子どもには、水遊びを通して色々なことを試しながら遊ぶ
姿が見られる。



フィールド：鳥居川

日付：2021年7月20日

コメント：「川の流れるを感じる」

流れの速い所で一度寝そべってみると身体が動いて
行く感覚を知った子ども達。

「足をあげると体が動くよ!」と気づいた子どもは、
水の流れるに身を任せると川下に流れる感覚を知る。
最初はこわごわ試していた子ども達の表情は、何度も繰り返
すうちに笑顔に変わり、水の気持ちよさと川の流れるを知
ることが出来た。



フィールド：鳥居川

日付：2021年8月26日

コメント：「カジカ捕まえたよ」

鳥居川の中の岩場にはカジカがいっぱいいる。保育者と一緒になって捕まえて、ケースに入れ、観察してみる。「顔が面白い」「海のはぜに似ている」実際に触ってみて「ヌメヌメしている！」

「動きが速い」という子ども達。生き物の特性を知る機会となった。



フィールド：浅川ダム

日付：2021年8月26日

コメント：「水のかってすごい」

浅川ダムの奥へ行くと、落差のある場所から勢いよく水が流れる場所を見つける。

最初は迫力のある音や水の流れに驚く子ども達だったが、保育者が水に打たれて楽しそうにしていると

「僕もやってみる」と挑戦する姿があった。

「痛い」「音がすごい」「楽しい」と喜ぶ子どもの姿があった。

注) 写真は5～6枚程度 (枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

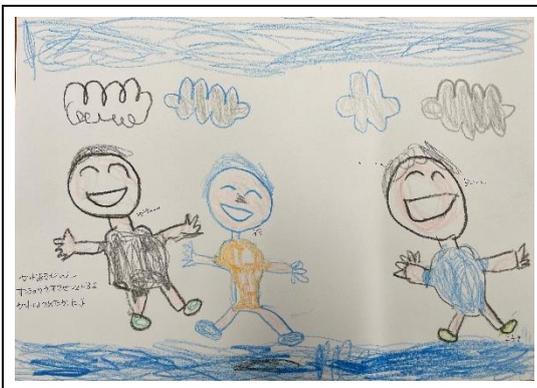
助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-007	学校法人 いっぴな学園	こどもの森幼稚園 内田 明子

こどものつづやき



『甲羅干し』
 「ごろんして おひさまに あたる」
 「いし(石)が いい(温かい)」
 「コンクリートも あたたかいよ…あついくらい」

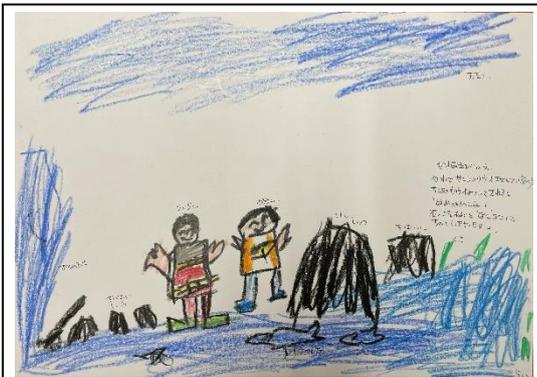
『浅いところ』
 ~歩くとウォーターシューズに砂が入る~
 「ざらざら する~」
 「(くつが)ぶかぶか する~」



『石の上を歩くとき』
 「ぼこぼこ する」
 「ちょっと いたい」

『顔に水がかかると…』
 「びっくり！」
 「さむい」
 「つめたいよ~ わーい 😊 ってる」

『川に顔をつけると…』
 「てんきがいいと (水が)あたたかいね」



『生き物との出会い』
 「(サンショウウオ)もつと んめぬめで すべっちゃった」

『ふかふかうかぶと…』
 「おぼれそう」
 「はなに みずが はいりそう」

『滝に当たった時』
 「ぼくが ながれていきそうで こわい~」
 「つめたかった」
 「おおきな おと！」



『何か勉強になった?』
 「ふかいところは ライフジャケット ないとダメ！」

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2021-7111-007	「川からの学びについて」	こどもの森幼稚園 内田 明子

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)

助成事業の主な実施箇所

こどもの森幼稚園 園庭での泥遊び・水遊び、園庭横の沢で沢遊び



浅川ダム上流 川遊び